



2026年5月8日

各位

会社名 ニチコン株式会社  
代表者名 代表取締役社長 森 克彦  
(コード: 6996 東証プライム)  
問合せ先 広報・IR部長 横場 幹人  
(TEL. 075-231-8461)

配当予想の修正および個別決算における特別損失の計上ならびに  
通期個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当期の年間配当金の予想について、下記のとおり修正することを決議しましたのでお知らせいたします。

なお、本件は6月26日開催予定の第91回定時株主総会に付議する予定です。

また、2026年3月期の個別決算で特別損失を計上するとともに、当社は個別業績予想を開示していませんが、2026年3月期の通期個別業績と前期実績値との対比においての差異が適時開示の基準に達しましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 配当予想（期末配当）の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2025年5月9日発表)		18円00銭	36円00銭
今回修正予想		19円00銭	37円00銭
当期実績	18円00銭		
前期実績 (2025年3月期)	17円00銭	18円00銭	35円00銭

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題と認識し、株主還元については、連結配当性向30%を目途に持続的な利益成長に応じて配当を増加させる累進配当(1株当たりの年間配当金の前期実績に応じて、配当の維持または増配を行うこと)を基本方針としています。

上記基本方針のもと、業績動向や今後の財務状況など総合的に勘案し、株主の皆様への一層の利益還元を目的に、期末の配当を直近の配当予想から1株当たり1円増配し19円(前回予想18円)といたします。これにより、第2四半期末配当(1株当たり18円)とあわせ、2026年3月期の1株当たり年間配当金は、前期の35円から2円増配の37円(前回予想36円)となります。

2. 個別決算における特別損失の計上について

(1) 特別損失の内容

当社の保有する連結子会社であるニチコン(マレーシア)センディリアン バハッドおよびニチコンエレクトロニクス(宿遷)カンパニー リミテッドの株式について、個別貸借対照表上の簿価に対する実質価額が著しく低下していることから減損処理を実施し、関係会社株式評価損を特別損失に計上しました。

(2) 特別損失の計上額

関係会社株式評価損 2,027 百万円

(3) 業績に与える影響

2026 年 3 月期の個別決算において特別損失として計上します。なお、当該関係会社株式評価損は、連結上消去されるため連結決算に与える影響はありません。

3. 2026 年 3 月期通期個別業績と前期実績値との差異 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	
前期実績 (A) 2025 年 3 月期	140,670	3,333	8,741	10,269	150 円 34 銭
当期実績 (B) 2026 年 3 月期	134,719	1,921	7,409	5,502	81 円 93 銭
増減額 (B-A)	△5,951	△1,411	△1,331	△4,767	
増減率 (%)	△4.2	△42.4	△15.2	△46.4	

差異の理由

2026 年 3 月期の営業利益は、売上高の減少に加え、原材料価格やエネルギーコストの高止まり、人件費や研究開発費の増加などにより、1,921 百万円(前期比 42.4%減)となりました。当期純利益は、前述の「2. 個別決算における特別損失の計上について」のとおり、当社個別決算において関係会社株式評価損を特別損失に計上したことを主因として、当期利益は 5,502 百万円(前期比 46.4%減)となりました。

以 上